

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第一卷 第四號

論說

●收益と生産費との關係

●專賣と戰後財政

●經濟學認識論ノ若干問題(二完)

雜錄

●危險分散主義ノ原則

●經濟主義ニ就テ

●英吉利ノ農政問題(二完)

●享保年間ノ米價調節(二完)

雜報

●經濟的進化と人口法則(二)

●戰爭利得稅新案

●獨逸帝國全體ニ亘ル半官企業組織新說

●英國ノ戰費と經濟

●獨逸ノ植民の運動ノ回想

●相續稅と家族制度

●本多利明ノ著書ニ就テ

●こんらう教授逝ク

法學博士 河上 肇

法學博士 小川郷太郎

法學博士 左右田喜一郎

法學博士 神戸 正雄

法學博士 戸田 海市

助教授 河田 嗣郎

法學士 本庄榮治郎

講 師 米田庄太郎

法學博士 小川郷太郎

法學博士 神戸 正雄

助教授 河田 嗣郎

助教授 山本美越乃

法學博士 神戸 正雄

法學士 本庄榮治郎

助教授 河田 嗣郎

雜 錄

危險分散主義ノ原則(合理的經濟生活ノ一原則)

(之ニ對スル一般の説明ヲ與エ、特ニ銀行界ニ於ケル適用ヲ説キ、
若干銀行時事問題ニ及ブ)

法學博士 神 戸 正 雄

經濟主義ノ原則ガ凡ヘテノ經濟行為ヲ支配シテ經濟上重要ナル原則タルコトハ皆人ノ注意スル所デアル。然ルニ危險分散主義ノ原則ガ各箇ノ經濟行為ヲ支配シ、更ラニ經濟政策ヲモ指導シテ、其適用ノ殆ント經濟界全般ニ亘ルホド重要ナル一原則タルコトニ至ツテハ、ムシロ看過セラレルノ傾ガアル。是レ予ガ特ニ茲ニ之ガ説明ヲ試ムル所以デアル。併シ經濟主義ノ原則ガ決シテ經濟生活ノミノ原則デハナクテ、廣ク合理的ナル人間生活ノ原則デアルト均シク、危險分散主義ノ原則モ亦タ經濟生活ノミニ關スルノ原則デハナクテ、廣ク合理的ナル人間生活ノ原則デアアル。例之試驗ニ應スルトシテハ、成ルヘク出サウナ問題ヲ良ク調ヘテ行ツテ、最少ノ努力ニテ最大ノ效果ヲ舉グルコトヲ計ルノハ、其可否善惡ノ道德的批判ハ別トシテ、少クトモ經濟主義ノ原則ニ從ツ

タ譯デハアル。然リトテ出サウナ問題ノミ調ベテ行ツテハ、當テノ外ヅレルコトガアリ得ル。恰モ其問題ガ出テスラ、案外其レデ失敗スルコトモアリ得ル。矢張り相當ニ凡ヘテノ問題ニ亘ツテ調ヘテ行クノヲ最安全トスル。此處ガ危險分散主義ノ適用デアル。或ハ大切ナ手紙ヲ出スノニ、一通シカ出サスデハ、假令書留ニシテ置イテモ、途中如何ナル變事ガ起ツテ先方ニ到着セヌカモ知レナイ。其處デ二三通出シテ置ク。外國便ナレバ例之郵便路ヲ別ニシテ、一ハ印度洋經由、一ハ亞米利加經由、他ハ西北利亞經由トイフ風ニシテ置ケバ、大抵大丈夫トイフコトナル。爲替手形ノ送附ナドハ此式デ行ク。此モ危險分散主義ノ適用デアル。

二

經濟界デハ危險分散主義ノ適用カ一層大デアル。利益ト安全トイフコトハ合理的ナル凡ヘテノ經濟生活ニ於テ期スル所デアル。私有財産ト私人ノ自定權トニ基ク經濟組織ノ下ニ、利己心ノ刺戟ニヨリ一層大ナル經濟價值ヲ擧ゲヤウト努ムル經濟行爲ガ利益ヲ求ムルコトイフ迄モナイガ、其利益ヲ追フニ急デ、安全トイフコトヲ看却シテハ、其利益ハ畢竟一時的デ、永遠ニ亘ル確實ナル利益ヲ收ムルコトハ得ナイコトナル。野蠻未開ノ社會デハ、人ガ唯ダ目前ノ巨利ノミ追フコトモ多イガ、其レデスラ自ラ安全確實ヲ期スルノ策ヲモ講ズルコトニナル。況ヤ世ノ中ガ開ケ人智ノ進ムニ隨テハ、安全トイフコトヲ大切ト考フルコトニナル。勿論進歩セル世ノ中ニモ安全無視ノ連中ガ絶エルコトハナイ。一六勝負ニヨツテ儲ケヤウトイフ者モアルガ、其ハ決シテ堅實ナル經濟行爲デハナク、之ヲ延長シタル經濟政策亦タ健實ナルモノトハ認メラレナイコトニナル。固ヨリ如何ニ安全ガ大切デアルトイフヲモ、單ニ安全ノミ追フノモ亦タ過ギテ居ル。安全ノ爲メニ

全ク利益ノ得ラレナクナルヤウデハ、經濟上ノ目的ハ得ラレナイ。仍デ此二ノモノノ調和ヲ計リ、出來ルタケ安全ニ出來ルタケ多クノ利益ヲ得ヤウトイフコトニナル。然ルニ此安全トイフコトハ實ハ絕對ニハ期スルコトヲ得ルモノデナイ。利益ヲ全ク犠牲ニシテモ必スシモ絕對安全ハ得ラレヌ。況ヤ多少トモ又ハ相當ニ利益ヲ得ルトイフ以上ハ、何ウシテモ多少ノ危險ハ免レナイ。凡ソ此世ニ於ケル事物ニ絕對ニ安全トイフモノハ一モナイ。想像スレハ皆ナ幾分ノ危險ハアル。其デ問題ハ唯ダ危險ノ程度トイフコトニナル。此危險ヲ出來ルタケ減少シヤウ。利益ヲ相當ニ出來ルタケ多ク收メツツ危險ヲ出來ルタケ減少シヤウトイフノガ、即チ合理的ナル人ノ努ムル所デアル。此ガ一ノ技術ノ問題デアリ、組織ノ問題デモアル。人智ガ進ンデ物理及化學的技術ガ益々發達スルニ隨ヒテハ愈々多ク造物主ノ秘密ヲ發キ、以テ利益ヲ進メ且ツ危險ヲ少クスルコトヲ策スルコト人智ノ進ム處社會上ノ秘密モ明ニセラレテ、利益ヲ大ニシ且ツ危險ヲ少クスルコトヲ策スルコトニモナル。危險ヲ少クスベキ方法ニツキ常ニ工夫研究ヲ怠ツテハナラス。危險分散主義トハ斯ノ如キ目的ニ應ズル一方法トシテ工夫セラレタ所デアル。但ダ斯ク危險分散ヲ行ツテモ、尙ホ十分安全ナルコトガ必スシモ期セラレヌ。斯カル萬一ノ場合ニ應ジテ安全ヲ期スル爲メニハ、更ニ貯蓄トイフ手段ヲ借ルコトニナル。併シ一體日本人ニハ其經濟生活ニ於テ安全トイフコトニ對スル注意ノ足ラヌ傾ガアル。其ハ彼等ニハ依賴心ガ強ク、親族友人社會國家ニ依賴スル傾ガ大キイカラデアル。彼等ガ之ニヨリテ相互保險ヲヤツテ居ル、一ノ危險分散ヲヤツテ居ルモノトモイハルルガ、然シ此ハ決シテ當テニハナラヌモノデアリ又當テニスヘキモノデモナイ。各人ガ自主的ニ萬全ノ道ヲ講ズルコトガ合理的ノ經濟方法デアルコトヲ注意シナケレバナラス。

三

今暫ラク經濟生活ニ於ケル危險分散主義原則ノ適用ヲ述ベヤウ。先ツ農業ニツキテ見ンカ。自給經濟ノ行ハルル社會デハ、殊更ニ此危險分散トイフコトガ重要トナル。予ハ嘗テ朝鮮ヲ觀察シテ、其農業ニ此主義ガ自ラ發達シテ居タコトヲ注意スルニ於テ大ナル興味ヲ惹キタルモノデアル。即チ外界ヨリノ食料ノ補給ノ行ハレ難キ社會デハ、勢ヒ數種ノ異レル作物ヲ作ツテ、雨多キ年ニテモ、旱魃ノ年ニモ、風荒キ年ニモ、何レカノ作物ガ相當ニ成熟シテ衣食ヲ足ラスコトヲ計ル。勿論今日ノ交通ノ開ケタル世ノ中ニハ斯ノ如キ必要大ニ減ジタリトイヘル。金サヘアレバ何處カラデモ足ラヌ物ヲ持來ルコトガ出來ル。デ態々各地ニ不當ノ物ヲ作ルニ及バス。最有利ナル物ヲ專ラ作レバ良シトモイハルル。又實際ノ趨勢モ益々斯ノ如クナルノニアル。然シ日本ノ農業者ノ多數ノ如ク極メテ小ナル地面(平均一家一町六畝當リ、米國ノ三十町六反九畝、英國ノ二十五町三反九畝、獨逸ノ五町五反九畝ニ對シテハ過小)ニ踞踏シ隨テ其經濟ノ餘裕乏シキヲ免レザルモノデハ、餘リニ營利ニノミ走ツテ専門的ニナル譯ニ行カズ、主タル特產物ノ外ニ、復雜ナル食料作物ヲ作ツテ如何ナル年柄ニテモ食物ニハ事ヲ缺カヌダケノ用意ヲ爲スガ得策デ、近頃ノ如ク農民ガ米ノ買喰ヲスルガ如キ方法ハ彼等ニハ不適當デアル。其ハ米國ヤ英國ヤニハ適當モシヤウガ、日本デハ不向キデアル。日本ノ農民ハ氣ノ毒デハアルガ麥粟黍稗等ノ雜穀ヲ食スルノ資格シカナイ。兎ニ角數種ノ作物ヲ作ルコトハ年々ノ自然的事情ガ或種ノ作物ニ不良影響ヲ與エテモ他種ノ作物ニ不良影響ヲ及ホスコトノアリ得ル所デ補ハルルコトニナル。更ニ多少ハ社會上價值動搖ノ關係カラシテモ或物ハ下ツテモ他ノ物ノ上ルコトノアリ得ルコトニヨリテ、其收穫物ヲ買却

スルダケデハ危險補償ノ利ヲ受クル。畜ニ異種作物ノ注意許デハナイ。出來ルナラバーノ農家デ水多キ田地ノミヲ持ツコトナク、水少キ田地ノミヲ持ツコトモナク、互ニ適當ニ色々ノ特徴アル土地ヲモツコトガ安全ヲ期スル所以デアル。更ニハ種子ニシテモ早手モ晩手モ作ツテ此點ニテモ危險ヲ分散スルコトヲ得策トスル。予ハ農家ニ長シ農作ニ關スル多少ノ經驗ヲ有スルガ、予ノ生家デハ如何ナル年ニモ早手ノミ作ツタコトモナク、晩手ノミ作タコトモナク、必ズ二種ノモノヲ半分々々ニ作ルコトヲ慣例トシタコトヲ記憶スル。近頃東北地方デハ晩手ニ懲リテ早手ニ移ツタトイフ。此モ亦タ過ギテ居ル。年ニヨツテハ晩手ノ有利ナコトモアル。其カラ副業ノ如キモ、假令收益ハ薄ク、安キ賃錢ニシカ當ラナクトモ、元來農業ノ閑ナル勢力、其ハ副業ナケレバ有害ニ徒消サルヘキモノヲ利用スル上ニ缺クヘカラザル所デアルガ、今イフ危險分散カライフテモ有益デアル。本業ノ損害ヲ幾分ナリトモ之ニヨツテ補償サルル可能ガアルカラ。

四

其他ノ原始産業デハ先ツ牧畜ニツキテモ一種ノモノニ偏スルハ危險デ、出來ルナラバ數種兼營ガ安全デアル。異ツタ場處ニ牧場ヲ持ツトイフ位ノ注意マデシタラ良カラウ。更ニ之ガ加工業、例之牧羊ノ場合ナラバ牛酪乾酪製造ニモ及フヲ可トスル。

林業デモ土地ノ風土氣候ニヨリ植物ノ種類ニ適否ガアルカラ、自ラ其々ノ土地ニ特殊ノモノヲ培養スルコトトナリ易イガ、而モ出來ルダケハ異種ノ物ヲ併セ植ユルコトガ利益ヲ安全ニスル所以デアル。勿論自然ノ災害ニモ社會上ノ推移ニモ抵抗シテ利益ヲ安全ニスル所以デアル。此ト同時ニ一企業者ガ出來ルダケ地理的ニ異ル場處、異リタル自然的狀勢ニ在ル處ヲ持ツヲモ得策トスル。

鑛山ニシテモ一企業ガ一ノ種類ノ鑛物ニノミ關係シテハ危險デアル。出來ルナラバ異種ノモノニ關係スルノガ安全トイフコトナル。尤モ今日ノ技術ノ程度デハ大抵ノ鑛岩カラ一種ノ鑛物バカリデナク、副産物ヲモ生ズルカラ、主産物ト副産物トノ間ニ自ラ多少ハ危險分散ノ行ハルル所デアル。

水産ニツイテモ特種ノモノノミニ偏スルハ危險。數種兼スルコトガ安全デアルガ、更ニハ漁獲物ヲ其儘市場ニ出スノミデアルト、時ニ利益ノ薄キヲ嘆ジナクレバナラヌコトニナルカラ、之ニ處スル爲メニ相當保存の加工業、例之罐詰燻製等ヲモ兼營スルヲ安全トスルコトナル。

五

工業ハ夫ノ農業ノ如クニハ異種ノ物ヲ結合スルコト通例容易デハナイ、自ラ一物ニ専門的トナルヲ免レナイガ、其レデモ今日ノ景氣ノ動搖スル世ノ中デハ其業體ト姉妹關係ニアル事業ヲ兼營シテ、一方ノ物が不景氣デ仕事ナキニ苦シムトキニモ他方ノ仕事デ何ウナリ斯ウナリ利益ヲ擧ゲ仕事ヲ續ケテ行クコトヲ得策トスル。此兼業ガナカツタナラバ、不景氣ノ際ニ此迄切角養成シ來ツタ熟練ナル勞動者ヲ解雇シテ、再ヒ其景氣ノ回復スルトキ之ヲ集ムルコトノ困難デアルベキニ此兼業アレバ斯カル心配ナキヲ得セシメ、或度マデハ固定資本ヲ眠カサズシテ濟ムコトニモナル例之日本デモ今デコソ景氣ガ衰クテ手が廻ハリ兼スルトイツテ威張ツテ居ルガ、數年前ニハ非常ニ事業ノ閑散ノ爲メニ困マツタコトノアル造船業有ガ、其困マツタ時ニ思ヒ付イテ諸機械機關車ノ製造ヲ兼チタガ如キハ其デアル。其レ許デハナイ、工業ガ其利益ヲ安全ニ大ニスル爲メニハ、原料ヤ助成品ノ生産業ニモ關係スル。例之製鐵事業ガ鐵鑛ヤ石炭鑛ヲモモツコトガ必要ニナル。

此カ廳ガテ多少危險分散ノ効ヲモ爲スコトニナル。

商業ニ於テモ或程度マデ異種ノモノヲ扱フ。其モ需要供給ノ方向ノ反對ナルガ如キモノヲ選ンデ組合セルノガ安全デアル。元來商業ハ資本モ、勞力モ可動的デアルカラ、前記諸業ニ比シテ一層此ガ行ハレ易イ。隨テ之ヲ利用スルヲ等閑ニシテハナラス。例之上等品ヲ扱フコトハ普通ハ利益ガ多カラウガ、時ニ不景氣ニ際シテ頓ミニ賣レナクナルコトモアルカラ、之ニ對スル普通品又ハ代用品模造品ノ如キヲモ兼テ扱フコトヲ安全トスル。又商業專門デハ豫定ノ時ニ豫定ノ額ノ豫定ノ品質ノ物ヲ得ルコトガ不確デアルカラトイフノデ、其扱フ所ノ品物ノ生産業マデモ兼スルコトガアル。此場合ニ於テハ商業ト工業トノ間ニ危險ノ分散ガ多少行ハルルコトニナル。

交通業ニツキテモ、交通專門デハ時ニ利益ノ薄キヲ嘆スルコトニモナルカラ、沿道ノ土地ヲ買占メ、家屋ヲ建テテ之ヨリシテ收益ヲ擧グル。沿道人ノ爲メニ其生産物又ハ所要品ノ賣買ノ仲介ヲ爲スコトニヨツテ利益ヲ多クシヤウトスルノミナラズ、幾分カハ危險ノ分散ヲモ行フ。更ニ一線ノミ持ツテ居テハ是レ亦危險トイフノデ、他線ヲモ持ツ。其レデ利益ヲ平均スルコトヲ計ル。

保險業デハ一層危險分散主義原則ニ注意スル。生命保險デモ被保險者ヲ異地方異職業ノ間ニ分散シテ求ムル。火災保險ニナルト特ニ地理的分散ヲ注意スル。地方ト地方トノ間ニ又一都市一村落ノ中デモ別異ノ方面ニ分散シテ被保險物ヲモツコトヲ忽ニセズ。偶々被保險物一所ニ密集スル傾ヲ見出スト、早速ニ他ノ企業ト協定シテ他ノ適當ナルモノト交換スル。其他ノ保險デモ矢張り之ニ準ズル。海上保險ニテモ、家畜保險ニテモ、電氣保險デモ此地理的危險ノ分散トイフコトハ是非トモ尊重シナケレバナラス。

六

其レカラ各勞働者自由職業者等デモ自ラ其々専門ノ出來ルノハ止ムヲ得ズ又此ガ通例ムシロ利益デハアルガ、其技術教育又ハ職業教育ヲ餘リニ一方ニノミ偏重セシメナイデ、多少ハ融通ノ利クヤウニシテ置クコトガ、萬一ノ失職ノ場合ニ處スルニ於テ安全デアル。出來ル場合ニハ平生カラシテモ兼業ヲシテ置クト安全デアル。

資本ニヨツテ衣食スル利殖者階級トシテハ、其資本ヲ一方ニ偏シナイデ、異地方異種類異物體ニ放下スルヲ選ムヘシトスル。例之所在カライヘバ歐ニモ米ニモ亞細亞ニモ亞弗利加ニモ濠洲ニモ、同シク亞細亞ニシテモ、日本ニモ支那ニモ印度ニモ、同シク日本ニシテモ關東ニモ關西ニモトイフガ如クニ分配スル。更ニハ公債ニモ社債ニモ株ニモ土地家屋ニモ、骨董品ニモトイフガ如クニ分配シ、同シク株ニシテモ紡績株ニモ製糖株ニモ銀行株ニモ鐵道株ニモトイフガ如クニシ、更ニハ同シク紡績デモ鐘紡ニモ東洋ニモトイフガ如クニ分散シテ置ク事ガ安全デ、斯クスレバ一地方一種類一物體ノ偶々被ル大損害ニ對シテ他ノモノニヨツテ補償セラルコトガ出來ル。之ガ所得モ繼續シテ相當ニ受クルコトガ出來、其財産價值モ平均シテ相當ニ維持セラレテ、必要トアラバ、擔保トスルニツキテモ賣却スルニツキテモ、其時々ニ於テ最有利ナル條件ヲモツモノヲ利用スルヲ得ル。例之今日ノ如ク土地價格ノ大下落シタル時ニハ土地本位ノ資本家ハ金融上ニモ大ニ困マルガ、此ト反對ニ株式ノ大下落ニ際會スルト、株式本位ノ人ガ困マルコトニナル。兩者ヲ適當ニ所有スル人ニシテ初メテ常ニ安全ナルコトカ出來ル。

更ラニ進ンデ考エルト、右ノ如クニ營業ナリ、資本ナリ、人的力ナリニ於テ其ノ危險分散ヲ

注意スレバ、其ニヨツテ經濟生活ヲ爲スニ於テ先ヅ安全デハアルガ、其デモ尙危險ヲ全ク排除スルコトハ勿論出來ナイ。此ノ中デ比較的安全度ノ大ナルハ資本デ立ツ階級デアル。此者ガ危險分散ヲ注意スレバ大抵大丈夫デハアルガ、其デモ尙危險ハアル。デ矢張り資本以外ノ元素、即チ營業及人的力ニモ依ルヤウニシテ置クコトガ、更ナル危險分散ヲ行フ所以トナル。特ニ資本ノ額ガ小デ之ヲ分散シテ放下スルコトノ極メテ限アル程度ニシカ行ハレナイモノニ在ツテハ特ニ此必要ガ大キイ。營業トイフ人的及物的ノ力ニ依ルモノニ至テハ、一層其收益動搖ノ危險モ多イカラ、危險分散主義ヲ行フ尙ホ其上ニモ、別ニ資本ヲ保持シ、純人的力ニ依ル收入ヲモモツコトヲ心掛クルコトガ安全トイフコトナル。勿論營業者ガ資本ヲ別有スルコトハ行ハレ易イガ、純人的收入ヲ兼有スルコトノ難イ傾ハアラウ。併シ特ニ小農民ニハ此ガ大切デ、閑ナ勞力ヲ賣テ生活ノ助トスル。同時ニ危險ノ分散ヲヤルコトニナル。人的力ノミニ依ル者ハ一層危險ガ大イ。兼業ガ困難デアル。其範圍ニ限ラレテ居ル。又如何ニ兼業ヤ、轉業ノ準備デ危險ヲ分散シテモ、人間ノ身體其モノガ危イ。如何ニ援群ノ能力ヲモツモノデモ、如何ニ健康ナル身體ヲモツモノデモ、一朝ニシテ病氣ニナリ一夕ニシテ死ヌカモ知レナイ。茲ニ於テカ彼ハ是非トモ物的ノ基礎即チ資本ヲ相當ニ作ルコトニ心掛ケナケレバナラス。貯蓄又ハ保險ノ如キモノヲ忽ニシテハナラヌコトナル。要スルニ資本、營業、人的力三方面デ其々ニ危險分散主義ヲ實行スルノミナラズ、此二ノモノヲ適當ニ組合スコトニヨツテモ危險分散主義ヲ實行スルヲ勸ムヘシトスル。

七

危險分散主義原則トイフモノハ獨リ各人ノ經濟生活ニ於テ注意スヘキ原則デアルバカリデナク、

經濟政策ニテモ重要デアル。一國ノ産業政策ニ於テ、産業ノ種類ヲ成ルヘクダケ普遍的ナラシメ、其對外販路ノ如キモ成ルヘク一方面ニ偏重セシメサルヲ期スルコトガ肝要デ、之ニヨツテ初メテ其國民經濟ノ安全ヲ達スルコトガ出來ル。此理想カライヘバ、一國ニ農業モ工業モ並ビ發達シ、農業又ハ工業中ニ於テモ諸產物諸業體ガ並ビ發達シ、對外販路ガ各地各方面ニ分散スルコトガ望マシイガ、固ヨリ此ハ實現ノ困難ナルコトデアル。其國情ト外部ノ事情トニヨツテ斯ノ如ク注文通リニナルコトハ餘程六ツカシイ。矢張り大勢ハ偏重ニナリ勝デアル。其レデ政策トシテノ任務ハ出來ルダケ其等ノ偏重ノ弊害緩和ヲ計ルヘキノミデアル。例之日本ノ如キハ英國等ノ如ク偏工デモナク、東歐諸國ノ如ク偏農デモナイト迄ハ、他ノ觀察點カラハ兎モ角、右ノ觀察點カラハ良イトシテ、工業ガ纖維工業ニ偏重シ、農業ガ米作ニ偏重シ、而シテ對外販路ガ米支二國ニ偏重スルノハ危險分散ノ趣旨ニハ適合セヌ。國民經濟ハ此等ノモノ一ツ一ツノ變動ノ爲メニ大動搖ヲ受クルヲ免レヌ。今日戰爭ノ影響ヲ受ケテ生糸ガ不況ヲ示シ、豐作續キノ爲メニ米價が大ニ下落スルト、其レダケデ國民經濟ノ全體ニ大動搖ヲ來タスコトニナル。又米支二國ヲ主販路國トシテ、此二國ヘノ輸出ガ全輸出ノ百分六十ヲ占ムル所カラ、米國ニ經濟上ノ動搖アルトキ、支那ニ排日運動ノ生ズルトキ、日本ノ國民經濟ハ重大ナル打撃ヲ被ラナケレバナラス。日本トシテハ販路ヲ此二國以外ニ大ニ擴張スルコトガ重要デアリ、纖維工業以外ノ工業、特ニ化學工業機械工業ノ一層ノ發達ヲ助成スルコトヲ必要トスル。唯ダ日本ニ於ケル米本位ノ農業ヲ改造スルコトダケハ容易ノ業デハアルマイ。

交通政策デハ少クトモ一國ノ軍事上經濟上重要ナル幹線ニ付キテハ水ニモ陸ニモ數條ノ交通路

ヲ開キテ天災又ハ人變ニヨリ其何レカノ故障ヲ見ルモ、他ノモノニヨリ交通ノ妨ゲラレザルダケ
ノ途ヲ作リ置クコトガ肝要デアル。

殖民及移民政策ヨリイフモ、其人民ノ移住發展地ノ一方面ニ偏在スルハ安全デナイ。恰モ其方
面ニ不利ナル事情ノ發生スルニ於テ人口又ハ資本ノ外出ノ途ヲ杜絶サルコトニナルカラ。

更ラニ財政ニ於テモ危險分散主義ノ適用ヲ見ルコトハ見逃シテハナラス。特ニ歲入ノ種類ニ於
テ私經濟的歲入ト公經濟的歲入トノ並ヒ存スルコトハ幾分カハ危險分散主義ニ適フ。勿論概シテ
イヘバ公經濟的歲入ノ方が確實デ、私經濟的歲入ノ方ハ世ノ中ノ需要供給ノ變化ニヨリ動搖スル
コト多シトイフコトハアルガ、去リトテ公經濟的歲入バカリ存スルコトノ出來ナイ事情ガアル。
特ニ沿革上私經濟的歲入ヲ多クモツ處デハ態々之ヲ廢止スルニ及バス。今日ノ財政需要ノ増進ノ
勢アル世ノ中デハ之ガ廢止ヲ得策トシナイ。既ニ此ガ公經濟的歲入ト並ビ存スルコトナレバ、
幾分ナリトモ之ニヨリテ收入減少ノ危險ガ分散サルルモノト見ルコトガ出來ル。私經濟的收入必
ズシモ常ニ公經濟的收入ヨリモ動搖特ニ減收ノ大ナリトイフヲ得スカラ。又均シク公經濟的歲
入特ニ租税ノ中デモ、種々ノ租税ガアレバ、其單一又ハ少數ナル場合ヨリハ收入減少ノ危險ノ少
キヲ得ル譯デアル。勿論租税ノ中デモ、地租トカ所得税トカイフモノハ營業稅ヤ消費稅ヤ交通稅
等ノ如キモノニ比シテ收入一層確實也トイフ長所ハアルガ、所詮其等ノモノノミデハ今日ノ收入
需要ヲ充タスニハ足ラヌカラ、勢ヒ營業稅以下ノ諸稅ヲモ併セ有ツノ外ナキコトトナルノデアル
ガ、然ルトキハ色々ノ税ノ存スルコトハ例之消費稅ニシテモ酒稅モアリ、煙草稅モアリ、砂糖稅
モ清涼飲料稅モアリトイフ風ニ色々變ツタ性質ノモノノ存スルコトハ、矢張り收入減少ノ危險ヲ

分散シテ收入確實ノ目的ヲ一層良ク達スルコトニナル。或ハ戰時ニ租税ト公債トヲ併用スルトイフ主義ノ如キモ矢張り、何レカ一方ノミニ依ツテ危險偏重タラシムルニ對シテ危險分散ノ趣意ニ適フトイフ所カラ來テ居ル。

八

次ニ特ニ銀行界ニ於ケル危險分散主義ノ適用ヲ説カウ。此主義ハ他ノ方面ニ於ケルト均シク又ハ其レ以上ニ此銀行界ニ於テ重要ナル。銀行ニ於テモ一ノ企業トシテ又ハ少クトモ一ノ經濟トシテ利益ノ外ニ安全トイフコトヲ計ラナケレバナラス。利益ノ大ナルニ眩シテ安全ヲ忘ルルカ如キ組織及經營方法ヲ探ツテハナラス。其レデ此銀行界ニ於ケル危險分散主義ノ最重要ナル適用トシテ銀行ノ

(一) 借方業務ニ於テモ貸方業務ニ於テモ、相。手。方。ノ。地。理。的。所。在。、職。業。、人。ノ。一。部。ニ。偏。重。シ。ナ。イ。ヤ。ウ。ニ。注。意。ス。ル。ヲ。要。ス。ル。ト。ナ。ル。之。ニ。關。聯。シ。テ。ハ。更。ニ。保。證。人。ニ。ツ。イ。テ。モ。同。様。ノ。注。意。ヲ。爲。シ、擔。保。品。ノ。所。在。地。及。種。類。ニ。ツ。イ。テ。モ。亦。偏。重。シ。ナ。イ。コ。ト。ヲ。要。ス。ル。貸。方。業。務。ニ。於。テ。ハ。若。モ。相。手。方。ガ。一。地。方。ニ。偏。シ、一。職。業。者。ニ。偏。シ、又。ハ。特。定。人。ニ。偏。ス。ル。ト、銀行ノ運命ヲ之ニ任カスコトナリ、危險此上モナイ。此等ノ者ガ假令平生ハ大丈夫トイフノデモ、何時異變ノ生ゼストハ限ラス。ムシロ分散主義ヲ探ルノ安全ナルニ如カナイ。保證人ニツイテモ同デアルコトハイフ迄モナシトシテ、更ニ擔保品ノ所在地ノ一地方ニ偏スルトキハ、其地方ニ特段ナル異變ガ起ツラスベテ大損害トナルコトトナリ得ル。其種類カライフテモ、廣ク物ノ價ハ大勢ガ上騰トカ大勢ガ下降トカイフコトハアツテモ、凡ヘテガ上リ又ハ凡ヘテガ下ルトイフコトハ事實殆ンド稀デ、或モノハ上リ他ノモノ

ハ下ルトイフノガ例デアル。上ルニシテモ下ルニシテモ程度ガ物ニヨリ異ルトイフガ例デアル。デ異種ノ物ヲ擔保ニモツトイフコトハ危險ヲ分散シテ安全ヲ期スル所以トナル。唯ダ下落ノ危險ノ大ナル性質ノモノニツキテハ、初メヨリ其時價ニ對シテ一層大ナル割引ヲ以テ貸付金額ヲ定ムルトイフ注意ヲ爲スヘキコト勿論デアル。隨テ株債券ノミヲ擔保ニスルノモ不安デアリ、不動産ノミヲ擔保トスルノモ、商品ノミヲ探ルノモ、不安デアル。其レ其レノ大種類ノ中ニテ特定ノ小種類ノ品物又ハ特定ノ會社等ノ證券ノミヲ擔保トスルノハ尙更ニ不安デアル。借方ノ業務ノ方ハ其程デハナイガ、其レニシテモ此ガ一地方一職業一人ニ偏スルコトトナレバ、特ニ當座預金ニナルト、俄カニ大取付ニ遇フテ、銀行トシテ困マルコトニナリ得ル。定期預金ノ如キモノデモ其期限到來ノ時ニ偶々右ノ債權者ニ大需要ノ起ツタ場合、銀行ガ急激ナル取付ニ遇ツテ困マルコトトナル。デアルカラ今日銀行界ノ趨勢トモイフヘキ資本集中主義、即チ結局少數大銀行ガ全國ノ銀行ヲ支配シテ之ヲ支店トシ又ハ少クトモ姊妹銀行トスルノ組織更ニハ外國ニマデモ支店ヲ普及スルノ組織ハ危險分散ノ上ニ有益デアル。危險ヲ特ニ地理的ニ、更ニハ多少異業體ノ上ニ分散スルノ效果ガアル。其ハ又啻ニ貸倒レヤ取付ヤノ危險ヲ分散スル許デナク、遊金ヲ抱イテ困マルトイフ危險ヲモ分散スルコトニナル。即チ一銀行ノ活動區域ガ都會ニモ居留ニモ及ンデ居ルナラバ、今日ノ如ク都會ニ餘レル金ヲ、其ノ之ニ缺乏ヲ感スル田舎地方ニ向ケテ、田舎地方的ノ短期貸付ニ應スルハ勿論、假令其借方業務ガ短期ニ偏シテ居テモ、後ニイフ如キノ理由デ多少ハ長期貸付ニモ應ズルコトガ出來テ、損失ヲ減少シ又ハ利益ヲ増加スルコトガ出來ヤウ。今日都會銀行ガ戰爭ニヨリ影響セラレテ資金ノ需要ナキニ苦ンデ居ル他ノ一面ニ、地方銀行デハ擔保物タル土地ノ

下落ニコソ困ツテモ、金利ノ高イノデ相當ニ好成績ヲ擧ゲテ居ルトイフニ於テ、都會銀行トシテモ願省シナクレバナルマイ。近頃日本銀行ガ地方貸付範圍ヲ擴張シテ擔保物件等ニ改正ヲ加エ、倉庫證券ノ擔保貸付及割引ヲ二流物ニモ及ホシ、更ニ債務者ノ占有スル物件ニモ信託讓渡ノ方法ニヨツテ之ヲ擔保トシテ融通スル道ヲ開キ以テ地方貸付ヲ便ニシタトイフガ、確ニ適切ナル處置デアリ、是レ亦タ其支店制度ニヨツテ行ハルルモノデ、之ニヨツテ都市ト地方トノ間ノ過不足疏通ヲ計ルコトモ出來、徒ラニ遊資ヲ抱クノ愚ヲ爲サザルヲ得ルコトニモナル。日本銀行今日ノ支店數ハ之ヲ獨佛ノ中央銀行ノ支店數ニ比シテ少數ニ過グル。之ヲ一層増加スルコトガ此觀察點カラシテモ望マシイ。獨逸一九一二年末大支店二〇、小支店七七、出張所約四〇〇、佛蘭西一九一二年末大支店一三九、小支店六七、出張所三六三、日本支店九一、同觀察點カラ今日ノ日本ノ農工銀行ノ活動區域ヲ一府縣管下ニ限ルハ當ヲ得ナイ。其危險ヲ自由ニ分散スルコトヲ得セシムヘキモノデアル。更ニ今日ノ銀行界ニ於ケル一部ノ傾向トモイフヘキ分業主義即チ特殊銀行ノ發達ニ至テハ、極端ニ之ヲ遂行スルトキハ危險分散ニ適ハスモノトシテ注意ヲ促スヘキモノデアル。各銀行多少重キヲ置クモノヲ異ニスルコトトナルトモ、多少ハ兼業ヲ爲スヲ安全トスルコトトナル。分業主義ヲ嚴守スルト、營業ノ地理的區域、相手方ノ職業、特ニ擔保物ノ種類ガ偏重スルコトトナル傾向ヲ生ズル。此ガ危險分散ヲ計ル所以デハナイ。現ニ不動產銀行タル農工銀行ハ如キハ、其擔保品ガ不動產ニ偏重スルノ結果、假令一面ニ金利ノ高キガ故ニ相當好營業成績ヲ示シテ居ルトハイヘ、他面擔保品タル土地ノ價格ノ下落ニハ少カラズ苦心シテ居ル。尙ホ此問題ハ項ヲ改メテ詳説シヤウ。

(二) スク銀行ニ於テ其營業ノ安全ヲ保スル爲メニ危險分散ヲ要求スル所デアルガ、茲ニ之ト多少抵觸シ隨ツテ適當ナル調和ヲ要スルモノガアル。他デハナイ。わづな一ガ重キヲ置イタ原則即チ銀行ハ主トシテハ唯ダ其受クル所ノ信用ト類似ノ信用ヲ與フルコトヲ得トイフコト、即チ貸方業務ノ種類ハ借方業務ノ種類ニヨツテ定マルトイフコト、更ニ換言スレバ借方業務長期ナレバ貸方業務モ長期、借方短期ナレバ貸方モ短期ナルベシトイフコトト危險分散原則トノ調和デアル。此借方貸方調整ノ原則ヨリシテハ更ニ所謂分業主義ヲモ重シ、或銀行ハ長期信用専門、他ノ銀行ハ短期信用専門トイフガ如クニスルノガ安全トイフノデアル。成程一應ノ安全ハ之ニヨツテ得ラルル、借方ガ短期デアルノニ、貸方ガ長期トナツテ居ルト、急激ナル取付ニ遇ツテ困マルコトニナル處ガ借方モ短期、貸方モ短期デアレバ其心配ハナイ。借方ガ長期デアルノニ、貸方ガ短期デアル方ハ、左様ナル取付ノ心配ハナイガ、借方ノ利子ガ自然高イカラ、短期貸付ニ於テモ自然高イ利子ヲ得ヤウトスル、自ラ危險ナル方面ニ貸出スコトトナル。危險トイフコトトナル。處ガ借方モ長期、貸方モ長期デアレバ、両方ニ調和ガ得ラレテ斯カル危險ハナイ。長期短期ノ貸方及借方ヲ併業スル事トナレバ、遂イ長期借入金ヲ短期貸出ニ向ケ、短期借入金ヲ長期貸出ニ向ケテ矢張り危險ニ陥ルカラ、全ク短期ノミ、又ハ全ク長期ノミトイフ風ニ分業スルコトガ安全トイフノハ至極尤モノ様ニ見ユル。併シナガラ之ニ依ルト更ナル危險ノ存スルコトヲ看過シテハナラス。例之普通銀行デアルカラトイフテ、短期信用ノミニ偏重スル。預金ハ當座。定期ニシテモ極短期デナケレバ取ラヌコトトスル。而シテ貸出ハ手形割引ヲ選ブ。貸付ニシテモ動産擔保ノ極短期貸付ニ限

ル。不動産擔保ノ長期貸付ハ一切ヤラストナレバ、時トシテ預金ハ多ク集マリ來ルモ、之ヲ放下スルニ適當ナル途ナクシテ徒ラニ資金ヲ抱クコトトナリ得ル。今日ノ日本ノ都會銀行ガ多クハ此デアル。此ガ若モ銀行ニ於テ預金ニモ長期アリ、貸出ニモ長期アリトスレバ、短期ノ方デ餘ツタ金ヲ長期ニ向ケルコトモ出來ル。後ニモイフ如キ理由デ斯ノ如クニシテモ差支ナイ。ムシロ臨機斯ノ如キ處置ニ出テ、利益ノ保全ヲ計ルベキデアル。直接長期貸付ガ心配デアルナラバ、間接長期貸付タル債券ニ向ケテモ良イ。或ハ今度ノ戰爭ノ終末ガ何時來ルカ分ラズ、如何ナル結着トナルカモ分ラズ、終末後資金需要ノ相次イデ生ズルニ於テ金利ノ上騰スルニ對シテ、今日直接ハ勿論間接ニセヨ長期ヲ以テ貸付ニ應スルノハ躊躇セザルヲ得ストイフカモ知レナイ。併シ如何ニ此戰爭終結後資金ノ需要ガ増加スルトイフタトテ、此度ノ戰爭ガ戰後資金ノ異常ナル需要ヲ生ズルホドノ經濟界ノ活氣ヲ齎ラスコトハアルマイ。彼我物價ノ懸隔ナリ、彼ニ於ケル公私復舊事業ノ爲メノ需要ナリカラ、多少ハ我國貨物ノ需要ヲ喚起シテ、我事業界ノ隆興ヲ促ストモ、我經濟發達度カラ考エテ見レバ恐ラク其等ノ需要ノ大部分ハ米國ニヨリテ供給セラルルコトトナツテ、日本ハ唯ダ間接ノ利益ニ與ルニ止マラウシ、戰後復舊事業トイフテモ、此戰爭ニヨル大疲弊ノ後ヲ承ケテ、所謂急激ナル大需要ノ起リ來ルコトヲ想像スルコトハ出來ナイ。或ハ戰後英國佛國等ヨリ日本ノ公債等ノ賣物ガ來ツテ日本ノ資金ヲ持行クトノ心配ヲ爲スモノガアルカモ知ラス。ガ其レモ大シタコトハアルマイ。此ガ盛ニナツテ日本ノ資金ノ大流出デモ生ズルコトニナラウトイヘバ、日本ニ於ケル日本公債ガ下ツテ相當ノ處ニ止マルコトトナルデアラウシ、ムシロ戰後ハ英佛等ノ資本家モ此度ノ戰爭ニヨツテ夫ノ放資物ノ地理的危險分散ノ價值ノ大ナルコトヲ痛切ニ經驗シタ

ルノミナラズ、戰後本國ニ於ケル重税ノ負擔ノ關係モアルカラ、日本ニ於テ適當ナル放資口サヘアレバ進シテ外資ヲ輸入シヤウトイフ位デアル。況ヤ從來ノヲ取付ケルトイフコトハ大シタコトアルマイ。少シ位ハ又此度ノ戰爭ニヨリ日本ノ有利ノ爲メニ増加シタル在外資金ニヨツテモ優ニ償却スルコトヲ得ヤウ。他ノ一面ニ於テハ不動産銀行デアルカラトイフテ、短期信用ヲ扱ハヌトアツテハ、短期借入金ヲ長期貸出ニ利用シ、長期借入金ヲ短期貸出ニ利用スルコトモ出來ヌ。双方疏通流用ノ餘裕ノアル方危險分散ヲ遂グル所以デアル。近年勸業銀行、農工銀行ガ短期借方及貸方業務ヲモ行フヤウニナツタノハ、ムシロ適當デアル。之ヲ以テ特權銀行ガ普通銀行ノ領域ヲ侵害スルモノ也ト非難スルノハ無理デアル。唯ダ農工銀行ニ於テ定期預金ヲ長期貸出ニ向クルコトヲ許スノ外、勸業銀行デモ農工銀行デモ、預金ノ利用ヲ有價證券ノ買收ト短期貸出トニ限定スルノハ少シク窮屈ニ過グル。斯ク短期信用ト長期信用トノ間ニハ多少流用スルヲ以テ却テ危險分散上有利ト爲ス所デアルガ、更ニ之ヲ流用シテモ差支ナキ所以ノモノガアル。第一長期借入金ヲ短期貸出ニ向クル方ハ取付ニ遇ツテ困マルトイフコトハナイ。唯ダ兎角危險ナル高利ノ貸出ヲ求ムルコトトナル危險アリトイフノデアル。然シ乍ラ時ト場合トニヨツテハ短期貸出ニシテ相當ノ利益ヲ擧ゲツツ而モ危險少キモノノ存シ得ル所デアルカラ、時ニ斯ノ如キモノヲ選シテ融通スルコト少シモ差支ナイ。第二ニ短期借入金ヲ長期貸出ニ向クルト、取付ニ遇ツテ困マルトイフガ、(a) 先ツ銀行ハ外部ヨリノ借方資金ノ外ニ、信用ノ基礎トシテ又イザトイフ場合ノ準備トシテ、別ニ資本金積立金ヲ有ツ。其一部ハ非流動的ノモノデアルニセヨ、一大部ハ現金カ又ハ容易ニ現金ニ換エ得ルモノデアル。此アルノ故ニ時ニ多少ハ短期借方資金ヲ以テ長期貸出ニ應ズルトモ心配

ナシトイフコトニナル。加之**(b)**短期借方資金ノ少クトモ一部ハ事實上引上サルルモノデナク、殆ンド長期借方資金ト異ラナイ。假令箇々ノ借方資金ニ出入ガアツテモ、全體上ハ一部不動トナル其經驗上引出サレザルヘキ一定部ノモノハ矢張り時ニ長期貸出ニ向ケテモ良イ。尤モ其ハ結果カラ見テ大抵一部長期的トナルトイフノデアツテ、契約上ハ特ニ當座ノ如キハ凡ヘテ直チニ引出サルコトニモナリ得ル、短キ定期預金ハ間モナク引出サルコトトナル性質ノモノデアルカラ、其ヲ以テ長期貸出ニ應スルノニハ多少ノ危險ハアル。一層安全ヲ期スルノニハ、短期借方資金トナツテ居テモ長期トナルヘキ性質ノモノハ、ムシロ契約上ニモ長期ニサセル。當座預金トナレルモノノ一部ニシテ容易ニ引出サヌモノハ定期預金ニサセル。短キ定期預金モ長キ定期預金ニサセル又ハ其レダケ債券ヲ持タスヤウニスル。然ルトキハ債權者モ萬一必要トアラバ、定期預金證書擔保デ金ヲ得ルノ道モアル。債券ヲ擔保トシテ借入ルルコトモ出來、債券ヲ賣却シテ金ヲ得ルコトモ出來ル。而シテ銀行トシテハ當座預金ヤ短キ定期預金ニナレルモノハムシロ短期貸出ニ向ケテ成ルヘク長期貸出ニ向ケヌトスルガ、長キ定期預金ヤ債券ニナツテ居ル資金、其ハ斯クセザレバ當座名義又ハ短キ定期預金デ銀行ニ來ルベキモノノ一部ハ、安心シテ長期貸出ニ向クルヲガ出來ルコトニナル。**(c)**更ニ長期貸出トイツテモ直接ノデアレバ短期借入資金ヲ以テ之ニ充ツルコトハ危險デアラウガ、間接ノデアレバ斯クシテモ心配ハナイ。例之不動產銀行債券ノ如キ動產化サレタル不動產ニ放資シテ置ケバ、間接ニ不動產擔保長期貸付ヲシタコトトナルガ、之ナレバ借方資金ノ取付ニ遇ツテモ、賣却モ自由デアリ、融通モ自在デアルカラ、心配ハナイ。特ニ最近勸業債券ガ見返擔保ニ加エラレタルニツイテハ一層此點ニ便利デアル。但シ此ニヨツテ勸業銀行ガ

最早不動産擔保長期信用交通ノ最高ノ金融機關デハナイコトガ明瞭ニナツタ、併シ本來兌換券發行權ヲ有スルモノ外、金融上ノ最高機關トハナリ得ナイノデアルカラ、斯クナルノモ當然デア
ル。爲メニ日本ノ金融界ニ一ノ危險分子ヲ増シタル如ク考フルノハ當ラナイ、之ヲ危險ナラシム
ルト否トハ全ク不動産銀行ノ運用ニアル。其運用ヲ誤ツタ尻ハ何ウシテモ最高ノ機關ニ持ツテ行
クヨリ外ハナイ。要スルニ銀行ニ於テハ長期信用短期信用兼營ガ得策デ多少流用スルヲ選ムヘシ
トスルコトトナル。此點ニ於テモ夫ノ銀行ニ於ケル分業主義ハ適當デナイ。夫ノ勸業銀行ニ認メ
ラルルガ如キ資金分立主義モ窮屈ニ過グル。然リトテ長期信用ト短期信用トノ間ヲ全ク混同スル
ノハ宜シクナイ。斯ノ如クナレバ必ズ又危險ヲ導ク。大體ハ長期借方資金ハ長期貸方へ、短期借
方資金ハ短期貸方ニ向クルコトトシテ、多少ノ臨機融通ヲ認ムルノヲ最穩當トスルコトニナル。
茲ニ危險分散主義原則ト借方貸方調整ノ原則トノ調和カ得ラルル。

十

(三) 更ニ銀行ニ於ケル他ノ安全原則ノ一トシテ銀行家事業家分業ノ原則即チ銀行家ト事業家ト
ハ別ニナリ、銀行家ハ事業家ノ上ニ立ツテ、其事業ヲ公平冷靜ニ監視シ、適當ノ程度ニ適當ノ方
法ニテ金融スルトイフコトガアルガ、然シ兼業主義モ時ニ勸メラルル。其ト危險分散主義原則ト
ノ調和又ハ關係ノ問題ガアル。右ノ銀行家事業家分業原則ハ洵ニ銀行營業ヲ安全ニスルニハ重要
デアル。銀行家ガ事業ニ關係スルト、勢ヒ其事業ニ對スル公平ナル判斷ガ出來ナクナツテ、過大ニ
其事業ニ金ヲ注ギ込ム。其事業ガ良ク行ケバ良イガ、逆調ニナツテ來ルト、銀行ニ穴ヲ開ケルノ
ミナラズ、之ヲ聞知シタル公衆ハ承知セヌコトトナル。預金取付頻リニ至ツテ銀行ノ破滅ヲ招ク

コトニモナル。之ヲ避クルヲ萬全トスルコトトナル。然シ此主義ハ餘リニ大事ヲ取り過グルノ非難ヲ免レヌ。銀行家ノ能力ノ乏シキセノニ對シテハ之ガ勸メラルルガ、銀行家ノ智能ガ發達シテ來レバ必スシモ此主義ヲ守ルニ及バナクナル。特ニ銀行ノ規模ガ大トナツテ抵抗力ガ強クナルト、必ズシモ此ノ如キ因循ナル主義ニ依ルニ及ハヌコトトナル。勿論一事業ニ關係スルノハ危險デアル。乍然數多ノ事業ニ關係スル以上ハ、銀行ガ株ヲ持チ、更ラニ銀行自ラ事業ヲ設立シ、經營シ、改造シテモ、之ニヨリ毫モ銀行ノ運命ヲ一事業ニ任カスモノデハナイ。銀行ノ關係事業ガ數多ノ種類ニ亘リ、其一ノ種類ノモノデモ更ニ數多ノニ亘ルコトトナレバ、却ツテ危險分散主義ニ適フトイフテモ良イ。銀行家銀行事務ニ通ズルモ事業經營ニ長ゼズトモイハルルガ、近世ノ事業ハ良キ技術的顧問サヘ持テバ、銀行家デモ經營ノ出來ヌモノデハナイ。銀行家ノ人的能力ニ加フルニ銀行ノ物的力ヲ以テスルニ於テ、却ツテ事業専門家ヨリモ良シ經營セラルルコトモ出來得ル。假令銀行家が銀行家専門デアル方ガ萬全トハイヘ、銀行家事業ヲ兼スルコトガ多少危險アリトハイヘ、之ヲ償フダケ銀行ノ利益ノ一層大ナルコトガ出來、間接ニハ又一國產業ノ發達ヲ助成スルニ於テ一層有功トスルナラバ、而シテ既ニ銀行實力モ大トナリ、銀行家ノ智能モ進ンダトイフ前提ガ備ハツタナラバ、銀行家ガ事業家ヲ兼ヌルニ至ツテモ差支ナイシ、又之ガ希望セラルル。唯ダ飽迄モ一事業又ハ少數事業ニ偏重セズ多數事業ニ關係シテ危險分散ヲ忽ニシナイコトガ注意セララル。併シ乍ラ今日ノ日本ニ於テ斯ノ如クナルコトガ國民經濟ノ發達上望マシキコトナリトシテモ、右イフ所ノ銀行ノ人的及物的前提ガ備ハツテ居ルトイヘヌ以上、直チニ彼等ニ實行ヲ迫マルノハ過キテ居ル。予ハ敢テ唯ダ銀行發達大勢ノ遂ニ右ノ如クナルヘキコトヲ我國銀行家ニ注意シテ、此大勢ニ應スル準備及手段ヲ講センコトヲ勸ムルモノデアル。